

フライングディスク 競技実施要領

1 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則「（公財）日本パラスポーツ協会制定」及び本大会の申し合わせ事項による。

2 招 集

- (1) 招集所は、競技場内に設ける。
- (2) 招集時間は、その競技種目の開始時刻を基準として次のとおりとする。
 - ① 第1コール・・・競技開始30分前まで
 - ② 第2コール・・・競技開始20分前まで
- (3) 招集の方法
 - ① 第1コールは、出場種目の招集開始時刻がきたら招集所で競技別の出場者一覧表の自分の番号を○で囲む。（代理でもよい。）
 - ② 第2コールは、その競技種目の開始時刻の20分前までに招集所に集合し、係員の最終点呼を受ける。点呼の際は、係員にゼッケン（番号布）を見せ確認を受けること。（代理は認めない。）
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものとみなし、出場できない。
- (5) 棄権する場合は、招集所に棄権届けを提出すること。

3 競技方法

- (1) 競技はすべて競技役員（審判員）の指示にて進行する。
- (2) 投げ方は自由とする。競技上有利となる用具の使用は認めない。
 - ◇ディスタンス種目…プレーヤーはスローイングエリア内で試技しなければならない。プレーヤーは試技の前に1投の練習をしなければならない。練習用ディスクは競技用と同規格のもので、色は黄色とする。試技は3投連続で行う。
 - ◇アキュラシー種目…試技は10投連続で行う。
- (3) 競技で使用する公式ディスクについては、主催者で用意する。
- (4) ディスタンス種目は、同順位の場合、1位、2位、3位は1投の再投（追加試技）により決定する。再投は、順位が決定するまで行う。4位以下の者が同記録の場合、再投は行わず同順位とする。再投の記録は公式記録としない。
- (5) アキュラシー種目は、得点の多さで順位を決定する。同得点の場合は、順次、得点を先に挙げた者を上位とする。なお、これによっても1位、2位、3位が決定しない場合は、1セット（3投）の再投（追加試技）を行い得点の多さで順位を決定する。4位以下の者で同点の場合は、再投せず同順位とする。

4 競技の服装

運動しやすい服装とし、運動靴を着用すること。

5 番号布（ゼッケン）

番号布の障がい別色分け

白：肢体　　黄：聴覚　　薄緑：視覚　　薄オレンジ：内部　　桃：知的

番号布は、主催者が交付したものを競技服装の上衣の胸部及び背部に付けること。

6 表 彰

出場選手全員に記録証を授与する。

7 その他

競技場内へは、大会役員、競技役員、競技補助員等、大会競技役員関係者及び競技者、許可された介助者、報道関係者以外は立ち入ることができない。